

第26回新大先端化学セミナー



放射光X線分析を用いて、 重金属を超集積する植物のナゾに迫る

日時: 9月19日(木) 17時~18時

会場: 物質生産棟751

講師: 保倉 明子 教授

(東京電機大学工学部応用化学科)



講演内容

ある種の植物は鉛やカドミウムなど有害な重金属濃度が高い環境でも育ち、体の中に高濃度の重金属を蓄積することができる。これらの植物を使った環境浄化技術(ファイトレメディエーション)は省エネルギー・低コストで、環境にやさしい技術として注目されている。これらの植物は、なぜ有害な重金属を高濃度に取り込んでも枯死しないのだろうか? 有害な重金属はどこに蓄積されているのだろうか? 一方、レアメタルなどの有用な金属を蓄積する植物は、新しい資源となる可能性も持っている。我々は放射光X線分析を利用し、植物における重金属蓄積機構の解明を目指して研究を行っている。それらの研究成果を紹介したい。

主 催: 自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース
理学部化学プログラム

共 催: ユビキタスグリーンケミカルエネルギー連携研究センター

連絡先: 理学部化学プログラム分析化学研究室 佐藤 敬一

TEL: 025-262-6195

e-mail : keiichi@chem.sc.niigata-ua.jp